ワイヤレスゲートウェイ <i>IB10</i> シリーズ		
取扱説明書	無線 LAN、Modbus/TCP(Ethernet)、Modbus-RTU 透過型 920 MHz 帯特定小電力無線局(親機)	形式
(操作用)	マルチポートゲートウェイ	IB10W2

目 次

機能概要	$\cdot \cdot 2$
■ 取扱説明書の記載内容について	···2
	3
■ 前面図	3
● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	3
■ 状態表示ランプ	3
■ IP アドレスリセット用スイッチ ·····	4
	5
■ Web ブラウザによる接続	5
■ 設定メニュー	6
	$\cdot \cdot 7$
■ 設定項目	7
■ 設定の保存 ·····	7
	8
■ 設定項目 ······	8
Modbus/TCP 設定	9
■ 設定項目	9
	10
	10
■ ノクセスホイントと人 ノーション	10
■ アクセス小イントとして到作させる場合の設定	11
■ ステージョンとして割作させる場合の設定	11
■ リビーダー	12
■ リビーダとして動作させる場合の設定 ■ 使用可能チャネルと帯域幅	12 13
	14
	14
	14
920MHz 帯無線設定 ······	15
■ 設定項目	15
■ MAC アドレスリスト設定	17
■ 接続拒否リスト設定	17
I/O モニタ	18
■ 表示項目	18
	19
■ 操作項目	19
	20
■ 操作項目	20
 メンテナンス	21
■ 操作項目	21

機能概要

●通信

920MHz 帯特定小電力無線機能搭載。弊社製 920MHz 帯無線子機と Modbus による通信可能。 IEEE802.11a/b/g/n(IEEE802.11n は最大 300Mbps 接続可)に準拠した無線機能搭載。 アクセスポイント、ステーション、リピータ、3つのモードで動作可能。 アクセスポイント配下に最大 2 台のリピータを数珠つなぎし、無線子機(ステーション)の無線接続可能エリアを拡大可能。 100BASE-TX の Ethernet 搭載、無線通信とのブリッジ機能により、Ethernet 機器の通信を無線に変換可能。※1 タブレット、スマートフォンを簡単に接続するため、簡易 DHCP サーバ機能を搭載。 ※1 IP 通信(TCP、UDP)に限ります。IP 通信を使用しない Ethernet 通信 (EtherCAT 等) をブリッジすることはできません。

●設定

設定用のWebサーバを搭載しており、PCやタブレット、スマートフォンから接続して設定の変更が可能。 設定画面への接続は、ユーザ名、パスワードに入力よる保護。

■取扱説明書の記載内容について

対応する項目を記号で表していますので、下表をご参照ください。

記号	対応
1.x のみ	ファームウェアバージョン 1.x のみ
2.0	ファームウェアバージョン 2.0 以降

各部の名称

■前面図



■側面図



■状態表示ランプ

1000			
ランプ名	状態	表示色	動作
Power	点灯	緑	供給電源 ON
	点滅		IP Reset スイッチ ON
	消灯		供給電源 OFF または機器異常
PoE	点灯	緑	PoE 電源入力時
	点滅		PoE 電源供給不足
Link	点灯	緑	Ethernet リンク確立時
			10BASE(10Mbps)送受信時
Link100	点滅	緑	100BASE(100Mbps)送受信時
WLAN1	点灯	緑	無線子機(ステーションまたは下位リピータ)接続時 ※1
	点滅		無線子機送受信 ※1
	消灯		無線子機未接続時
			アクセスポイント動作時かつ上位リピータと組み合わせて運用している場合、上位リピータと無
			線接続できない異常状態を示します。
			上位リピータ動作時かつ下位リピータと組み合わせて運用している場合、下位リピータと無線接
			続できない異常状態を示します。
WLAN2	点灯	緑	無線親機(アクセスポイントまたは上位リピータ)接続時 ※2
	点滅		無線親機送受信 ※2
	消灯		無線親機(アクセスポイント)未接続時
			リピータ動作時、アクセスポイントまたは上位リピータと無線接続できない異常状態を示します。
			ステーション動作時、アクセスポイントと無線接続できない異常状態を示します。
920Run	点灯	緑	920MHz 帯無線子機と交信正常時
920Link	点灯	緑	920MHz 帯無線動作中
	0.5Hz 点滅		920MHz 带無線起動中
	2Hz 点滅		920MHz 帯無線 10%Duty 制限による送信停止発生中
	消灯		920MHz 帯無線停止中

※1 ステーション動作時は無線子機と接続しないため、点灯/点滅しません。

※2アクセスポイント動作時は無線親機と接続しないため、点灯/点滅しません。

■IP アドレスリセット用スイッチ

本スイッチを2秒以上押下すると、Power ランプが点滅し、本器の設定を工場出荷時の設定値で初期化します。 Power ランプの点滅を確認後、本スイッチを離すと機器が自動的に再起動し、初期化した設定で機器が動作開始します。 IP アドレス設定等がわからなくなったときなどにご使用ください。

通信接続

■Web ブラウザによる接続

本器の設置後は、Ethernet を介して PC やタブレット、スマートフォンの Web ブラウザから初期設定を行う必要があります。初期設定では、IP アドレス等の TCP/IP 設定や、無線 LAN 設定など本器の機能に関する設定を使用方法に合わせた内容に設定します。

本器のWebサーバ機能は、HTML5をサポートする多くのWebブラウザ環境で利用可能なように設計していますが、すべてのWebブラウザ、環境での利用は保証できません。弊社で動作確認したWebブラウザであっても、Webブラウザの設定やインストールしている セキュリティソフトなどにより、表示が乱れる、特定の機能が動作しないなどの可能性があることをご了承ください。

弊社にて動作確認した Web ブラウザを下表に列挙します。

動作機器	Web ブラウザ
Windows 7、Windows 8.1 または Windows 10 が動作する PC	Internet Explorer 11.0.9600.18697 (32-bit)
	Internet Explorer 11.0.9600.18739 (64-bit)
	Internet Explorer 11.1593.1493.0 (64-bit)
	Microsoft Edge 38.14393.0.0 (32-bit)
	Microsoft Edge 38.14393.1066.0 (64-bit)
	Firefox 55.0.3 (32-bit / 64-bit)
	Chrome 60.0.3112.113 (32-bit / 64-bit)
iOS10.0 が動作する iPhone または iPad	Safari *1
Android6.0.1 または 7.1.1 が動作するスマートフォン	Chrome 60.0.3112.107
キたけタブレット	

※1 Safari では iOS の制限によりメンテナンスの設定をファイルに保存する操作で、ローカルにファイルを保存することができません。ネットワークストレージを使用するアプリ(Google ドライブなど)をインスト ールすることにより、ネットワークストレージに設定ファイルを保存できます。また、Safari では設定をファイルに保存する時のファイル名は Unknown となります。

本器の IP アドレスは出荷時設定値で 192.168.0.1 となっておりますので、本器を設定する PC 等のアドレスを 192.168.0.5 等の 192.168.0.1 と通信可能なアドレスに設定して本器と Ethernet ケーブルで接続してください。

接続後、接続した PC 等の Web ブラウザ画面で http://192.168.0.1/ に接続してください。

正常に接続が行われると、右図のような画面が Web ブラウザ上に 表示されます。Web ブラウザの表示はお使いの OS や、Web ブラ ウザの種類、バージョンによって異なります。

本器の設定用ユーザ名とパスワードは出荷時設定値でユーザ名、 パスワードともに admin となっておりますので、それを入力し てください。入力後、右下図のような設定メニューが表示されま す。

iPad 令	15:07 98%
	ユーザ認証
ユーザ名	
1170 L	
7,20-6	
	ログイン

■設定メニュー

ログアウトボタン操作で、設定メニューに入る前の画面に戻りま す。

ログアウト	設定メニュー	
設定 機器情報 TCP/IP設定 Modbus/TCP設定 無線LAN設定	接作 //Oモニタ 気線モニタ 920MHz帯気線トポロジモニタ メンテナンス	
DHCP設定 920MHz帯無線設定		

機器情報

設定メニューの機器情報で下表の項目が設定できます。

iPad ᅙ		11:07	🖇 100% 📟 f
🔊 戻る		機器情報	保存 🖌
タグ	test-tag		8/16
設定ユーザ名	admin		5/32
設定パスワード	admin		5/32

■設定項目

	1. 説明	初期値
タグ	本器のタグ(名称)を設定できます。	test-tag
	設置場所や、それを類推できるような名称を設定することをおすすめします。	_
	16 文字までの任意の文字で設定可能です。	
設定ユーザ名 /	設定メニューにログインするためのユーザ名、パスワードを変更できます。	admin /
設定パスワード	本設定は、出荷時設定値から変更することを強くおすすめします。	admin
	32 文字までの任意の文字で設定可能です。	

■設定の保存

設定画面内の各設定内容を変更後、画面右上の保存ボタン操作で、本器に設定して前の画面に戻ります。画面左上の戻るボタン操作した際は、変更を設定せずに前の画面に戻ります。この手順は、機器情報のみならず、他の設定でも同じです。

設定保存後、設定メニューに戻ると、下図のように再起動するボタンが現れます。他に設定変更する場合は設定変更を継続し、設定変 更完了であれば、再起動するボタンを操作して機器を再起動して、設定変更内容を機器に適用してください。

ログアウト	設定メニュー	
設定変更を適用するには機器を	再起動しなければなりません。	
	現 88 000名	
設定	操作	
機器情報	1/0モニタ	
TCP/IP設定	無線モニタ	
Modbus/TCP設定	920MHz帯無線トポロジモニタ	
無線LAN設定	メンテナンス	
OHCP設定		
920MHz帯無線設定		

TCP/IP 設定

設定メニューの TCP/IP 設定で下表の項目が設定できます。

iPad ᅙ	15:07	98% 🔲
反 戻る	TCP/IP設定	保存 🖌
IPアドレス	192.168.0.1	
サプネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
DNSサーバアドレス	0.0.0.0	

■設定項目

項目名	説明	初期値
IPアドレス /	本器の IP アドレスとサブネットマスクを設定します。	192.168.0.1 /
サブネットマスク		255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	外部ネットワークにつながるルーターのアドレスを設定します。	0.0.0.0
	外部ネットワークと通信しないローカルネット内限定で使用する場合は、デフォルト	
	ゲートウェイの設定は、0.0.0.0(使用しない)のままでかまいません。	
DNS サーバアドレス	DNS サーバのアドレスを設定します。	0.0.0.0
	DHCP サーバ機能をご使用の場合、DHCP クライアントの DNS サーバには本設定が	
	適用されます。	
	DHCP サーバ機能をご使用にならない場合、DNS サーバの設定は 0.0.0.0 (使用しな	
	い)のままでかまいません。	

設置場所に適切な内容を設定してください。設定内容がわからない場合は、ネットワーク管理者様、ネットワークの敷設業者様等にご 確認ください。

注意事項

本器のネットワーク設定がわからなくなり、他の機器からネットワークで接続できない場合は、本取扱説明書の「P.4 IP アドレスリ セット用スイッチ」を参照して、ネットワークの初期化を行ってください。

Modbus/TCP 設定

戻る	Modbus/TCP設定	保存
	502	
続タイムアウト(秒)	60.0	
odbus例外応答	06(BUSY),0B(ERROR)を返す	¢

設定メニューの Modbus/TCP 設定で下表の項目が設定できます。

■設定項目

項目名	説明	初期値
ポート	Modbus/TCP 通信で使用する TCP ポート番号を設定します。設定は 1~65535 の範囲	502
	で行えます。	
	Modbus/TCP 通信で一般的に使用されているポート番号は 502 ですので、変更の必要	
	がなければそのままご使用ください。	
接続タイムアウト	Modbus/TCP 通信で、無通信の TCP コネクションを切断するまでの時間を設定しま	60.0 秒
	す。設定は 0.0~3200.0 秒の範囲で行えます。	
Modbus 例外応答	Modbus のタイムアウトやエラーを本器が検出した際、Modbus マスターに対して	06(BUSY)
	Modbus の例外を応答するか、何も応答しないかを選択します。	0B(ERROR)を返す
	● 06(BUSY)、0B(ERROR)を返さない	
	● 06(BUSY)、0B(ERROR)を返す	

無線 LAN 設定

設定メニューの無線 LAN 設定で無線 LAN 通信に関する設定が行えます。

本器はモードの切替により、アクセスポイント、ステーション、リピータいずれかとして動作可能です。設定方法はモードにより異な りますので、下記の説明にしたがって設定してください。

iPad 후	15:07	98%
5 戻る	無線LAN設定	保存 🗸
モード	アクセスポイント	٢
周波数带域	2.4GHz(IEEE802.11bgn)	٥
チャネル	11 (20MHz)	0
ネットワーク名(SSID)	test-ssid	9/32
暗号化の種類	なし	\odot
WEP+-	000000000000	WEP128 13/26
事前共有キー(PSK)	00000000000	13/64
無線送信出力	100%	\odot
SSIDステルス	無効	٢
アクセスポイント/リピータ MACアドレス	00:80:92:00:00:00	

■アクセスポイントとステーション

アクセスポイントは、複数のステーション(無線 LAN 子機)を無線ネットワークに接続させる無線 LAN 親機の役割を持ち、アクセス ポイントと接続している全てのステーションで相互に無線通信できます。また、本器は無線 Ethernet 間のブリッジ機能を持つため、本 器の Ethernet 側に接続している Ethernet 機器も、本器と無線接続している機器と通信できます。

本器をアクセスポイントとして動作させる場合、最大32台までのステーションを接続して使用することができます。



■アクセスポイントとして動作させる場合の設定

項目名	説明	初期値
モード	アクセスポイントを選択してください。	アクセスポイント
周波数带域	無線で使用する周波数帯域を下記から選択してください。	2.4GHz(IEEE802.11bgn)
	• 2.4GHz(IEEE802.11bgn)	
	● 5GHz(IEEE802.11an)	
チャネル	無線で使用するチャネルを選択してください。	11 (20MHz)
	チャネルの詳細は「P.13 使用可能チャネルと帯域幅」を参照してください。	

ネットワーク名(SSID)	アクセスポイント(AP)として動作する際の ID を最大 32 文字の任意の文字	test-ssid
	列で設定してください。ステーションからはここで設定したネットワーク名	
	(SSID)を指定して接続することができます。	
暗号化の種類	無線で使用する暗号化方式を下記から選択してください。特に理由がない場	なし
	合は WPA2-PSK(AES)をご使用になることをおすすめします。	
	●なし	
	• WEP	
	• WPA-PSK(TKIP)	
	• WPA-PSK(AES)	
	• WPA2-PSK(TKIP)	
	• WPA2-PAK(AES)	
WEP キー	暗号化の種類で WEP を選択時、無線接続に使用するキーを設定してくださ	0000000000000
	<i>k</i> ،	
	キーは WEP 64 と WEP 128 の 2 種類の暗号強度により下記の 2 種類の長さ	
	の文字で設定します。	
	● WEP64 5 文字の ASCII 文字、または 10 桁の 16 進数	
	● WEP128 13 文字の ASCII 文字、または 26 桁の 16 進数	
事前共有キー(PSK)	暗号化の種類でWPA、WPA2を選択時、無線接続に使用するキーを設定し	0000000000000
	てください。	
	8~63 文字の ASCII 文字、または 64 桁の 16 進数で設定します。	
無線送信出力	無線の送信出力強度を下記から選択してください。	100%
	無線送信出力を制限することにより、無線の到達距離の範囲を短くして、他	
	の無線への影響を少なくすることが可能です。	
	• 100%	
	• 70%	
	• 50%	
	• 35%	
	• 25%	
SSID ステルス	SSID ステルスを「有効」に設定すると、本器はネットワーク名(SSID)を	無効
	周りの機器に通知しなくなります。これにより、接続を許可していない無線	
	ステーションから本器の SSID が見えなくなるため、不正なアクセスを防止	
	する効果があります。	

■ステーションとして動作させる場合の設定

項目名	説明	初期値
モード	ステーションを選択してください。	アクセスポイント
ネットワーク名(SSID)	接続するアクセスポイントと同じ設定にしてください。	
暗号化の種類		
WEP キー		
事前共有キー(PSK)		
無線送信出力	アクセスポイント動作時と同様に設定可能です。	

■リピータ

リピータは、アクセスポイントの電波を中継することにより無線通信可能エリアを拡大します。本器はアクセスポイント配下に最大 2 台まで数珠つなぎにし、最大 3 台分の電波到達エリアを無線通信可能エリアにすることができます。3 台以上のリピータを数珠つなぎ にすることは設定上可能ですが、動作保証しません。

下図の場合、アクセスポイントとリピータ1は親子関係にあり、アクセスポイントが無線親機です。リピータ間には上下関係があり、 下図のようにアクセスポイントに近い方が上位リピータ、遠い方が下位リピータとなります。

アクセスポイント、リピータ間の無線接続を本器前面の WLAN1、WLAN2 ランプで確認することができます。



■リピータとして動作させる場合の設定

項目名	説明	初期値
モード	リピータを選択してください。	アクセスポイント
周波数帯域	中継するアクセスポイントと同じ設定にしてください。	
チャネル		
ネットワーク名(SSID)		
暗号化の種類		
WEP キー		
事前共有キー(PSK)		
SSID ステルス		
無線送信出力	アクセスポイント動作時と同様に設定可能です。	100%
アクセスポイント/	アクセスポイントの MAC アドレスを設定してください。	00:80:92:00:00:00
リピータ	既設のリピータがある場合は、その MAC アドレスを設定してください。	
MAC アドレス		

■使用可能チャネルと帯域幅

本器で使用可能な無線チャネルは、2.4GHz帯では1~13、5GHz帯では36~64、100~140です。

チャネルは単独(帯域幅 20MHz)で使用することもできますが、チャネルボンディングと呼ばれる方法で、2つのチャネルを束ねて(帯 域幅 40MHz)使用し、通信速度を向上させることもできます。

チャネルボンディングで拡張チャネル(2つ目のチャネル)に選べるチャネルは下表のように通信規格で決まっています。

チャネルボンディングを使用する場合は「1+[5]」等、"+[拡張チャネル]"表記の項目を選択してください。

チャネルボンディングを使用する設定の場合であっても、接続相手がチャネルボンディングに対応していない場合は、単独チャネルでの無線通信が行われます。

帯	或	チャネル	拡張チャネル	屋外使用	備考		
-		1	5				
		2	6				
		3	7				
		4	8				
		5	1または9				
		6	2または10		アクセスポイントが無線の混雑となると判定した場合は、拡張チャネ		
2.4G	Hz	7	3または 11	可	ルを使用する設定にしていたとしても使用せず、単独(帯域幅		
		8	4または12		20MHz)チャネルでの無線通信となります。		
		9	5または 13				
		10	6				
		11	7				
		12	8				
		13	9				
		36	40	- - 不可 -			
	WFO	40	36				
	W 92	44	48				
		48	44				
		52	56				
	WED	56	52	ক ন			
	W 93	60	64	个时			
		64	60				
		100	104		ス家レーター等か使用している電波を避けて動作するにののDFS機		
$5 \mathrm{GHz}$		104	100		肥により、機益延期後1万间は悪瘀連信か停止しより。 「「「「「」」」を担合け、自動的に使用チュラルズ本		
		108	112		ス家レーター寺の电波を使出した場合は、日期的に使用ファイルが変 更され 1 八明無迫通信が値止した後 毎迫通信開始します		
		112	108		てされ、1万间無縁通信が停止した後、無縁通信開始しまり。 		
		116	120		リピータ機能を使用する場合け これらのチャネルけ使用したいでく		
	W56	120	116	म् -	ゲキャンリピータ機能でこれらチャネルを使用した動作に関してけ保		
		124	128		「「「しません」		
		128	124				
		132	136				
		136	132				
		140	なし				

DHCP 設定

設定メニューの DHCP 設定で下表の項目が設定できます。

iPad ふ 反る		DHCP設定	98%。
モード		無効	0
配布開始IPアドレス	192.168.0.50		
配布終了IPアドレス	192.168.0.99		

■設定項目

項目名	説明		初期値
モード	本設定を「有効」に設定する。	無効	
	DHCP サーバ機能が有効にな	ると、本器に無線/Ethernet にかかわらず接続した DHCP	
	クライアント機器に下記のア	ドレスを配布し、設定を自動で行います。	
	IPアドレス	配布開始 IP アドレス~配布完了 IP アドレスの範囲内	
	サブネットマスク		
	デフォルトゲートウェイ		
	DNS サーバ	TCP/IP 設定の DNS アドレス	
配布開始 IP アドレス /	DHCP サーバで配布するアドレスの範囲を指定します。		192.168.0.50 /
配布終了 IP アドレス			192.168.0.99

注意事項

配布 IP アドレスの範囲と DNS アドレスは、必ず本器と直接(デフォルトゲートウェイを介さないで)通信可能なアドレス範囲を設 定してください。直接通信できないアドレス範囲を設定した場合の正常動作は保証できません。 同じネットワーク内に別の DHCP サーバがすでに設置してある場合は、本機能を有効にしないでください。両方のサーバ機能が衝突 し、正常動作しません。

920MHz 帯無線設定

設定メニューの 920MHz 帯無線設定で下表の項目が設定できます。(下記画面はファームウェアバージョン 2.0 のものです。)

() 戻る	Q20MHz當無總設定	保存 🗸
	SZOWI IZ II MIRKBERZ	
PAN ID(グループ番号)	0000	
チャネル番号	lch	٢
ネットワーク名	МН920	5/16
暗号鍵	000000000000000000000000000000000000000	32/32
プレフィックス	2001:0000:0000:0001	
電波送信の監視単位設定 (秒)	1800	
送信出力設定	20 mW	٢
ネットワーク規模調整 ネッ トワーク構成	子機(固定設置) 1 ~ 30台構成	0
ネットワーク規模調整 ネッ トワーク品質設定	標準(推奨)	0
ネットワーク参加モード設 定	v3互換モード	0
パケットフィルタリング	あり(ポーリング)	٢
タイムアウト時間(秒)	4.0	
局番の指定方法	リスト方式	٢
920Runランプ点灯タイム アウト(秒)	5.0	
経路切替前の子機宛データ 送信回数	3 0	0
	局番リスト設定	
	MACアドレスリスト設定	
	接続拒否リスト設定	

■設定項目

項目名	説明	初期値
PAN ID (グループ番号)	920MHz 帯無線を識別するための ID を 0000~FFFE の範囲の 16 進数で設定しま	0000
	す。複数の 920MHz 帯無線親機で複数のネットワークを構築する場合は、おのおのの	
	親機に異なる PAN ID を設定しなければなりません。	
	0000を設定した場合は、920MHz帯無線は使用せず停止します。	
チャネル番号	920MHz 帯のどのチャネルを使用するかを 1~28ch から選択します。	1ch
ネットワーク名	920MHz 帯無線を識別するための ID を 1~16 文字の半角英数字と一部の記号(""半	MH920
	角スペース、"ー"ハイフン、"_"アンダーバー、"."ドット、"@"アットマーク)で設定し	
	ます。	
	子機は接続する 920MHz 帯無線ネットワークを本ネットワーク名で指定します。	
暗号鍵	920MHz 帯無線子機の接続を許容するための暗号鍵を 32 桁の 16 進数で設定します。	ALL 0
プレフィックス	920MHz 帯無線では IPv6 通信を使用しており、ネットワークに接続された親機、子	2001:0000:
	機の IPv6 アドレスは、ここで設定されたプレフィックスを元に自動的に決定されま	0000:0001
	す。	
電波送信の監視単位設定	ARIB STD-T108 で規定される送信時間制限(10% Duty 制限)を遵守するための送	1800 秒
(秒)	信を監視するための単位時間を設定します。	
送信出力設定	920MHz 帯無線の電波送信出力を下記から選択します。	20 mW
	• 0.16 mW	
	• 1 mW	
	• 20 mW	

1 × 00 さ時成 • 1 ~ 30 さ時成 5 × 0 ト つ ク 集成 (*) • 63 ~ 100 合時成 • 5 × 0 ト つ ク 集成 (*) 920MHz 奇麗和で設かす 3 下後の支部した手換を接対 5 5 %, 174個(日本語の) + 子 1 × 30 さ県成 • 68 (*) 2 0 920MHz 奇麗和で設かす 5 下後の支部した手換を接対 5 5 %, 174個(日本語の) + 子 1 × 30 さ県成 • 78(個(日本語の) + 2 *) 2 0 • 9540(日 + 78(0) + 28) 2 0 • 9541(1 * 93 ± 28) + 70 - 28 ± 28) 2 0 • 9541(1 * 93 ± 28) + 70 - 28 ± 28) 2 0 • 915(1 + 91 ± 28) + 70 - 28 ± 28) 2 0 • 80 ± 21 + 78 ± 28) 2 0 • 80 ± 21 + 78 ± 28) 2 0 • 80 ± 70 + 78 + 78 ± 28) 2 0 • 80 ± 21 + 78 ± 28) 2 0 • 80 ± 21 + 78 ± 28)	ネットワーク規模調整	920MHz 帯無線で接続する子機の台数を下記から選択します。	1 ~ 30 台構成
● 31 - 00 5世校 ● 51 - 100 7 (株式) ● 51 - 100 7 (株式) キットワーク集成 キットワーク集成 200111 営業に登ける「成文」と「大型を技術する場合」「子機(固定成型) + 子 型(低量数) - 約5 (比交当した「社会技術する場合」「子機(固定成型) + 子 型(低温定数型) - 20 6 (株式) ● 7 (株(固定成型) + 20 6 (株式) ● 7 (株(固定成型) + 20 6 (株式) ● 7 (株(固定成型) + 20 (低温を物) ● 10 (株式) ● 10 0 6 (株式) ● 10 (株式) ● 10 0 6 (株式) ● 10 (株式) ● 20 0 (株式) = 7 (4 (5 (任 * 1) - 10) (-10)	1.x のみ	● 1 ~ 30 台構成	
● 61 ~ 100 / 理成● (一)ネットワークガ焼焼き ネットワーク焼焼き (20) MHA 帯島窓 (装装行る子様の内容, 取容数を下記から選択します。 (本気に設定) に設っした干燥を残壊する音奈、「子様(周空震力) + イ (株気に設定) となどして(法用ください、 ・ (株気に設定) + 20) 合作成 ・ 子様(周空震力) + 20) 合作成 ・ 20) 合作成 ・ 20) 合作成 ・ 子様(周空気力) - 20) 合作成 ・ 20) 合作の ・ 20) 合作の 		● 31 ~ 60 台構成	
キットワーク販売数 GOM/H・港港県で接着さる子美の小賞、衣喜素をTSU-6 選択します。 キットワーク購及 井坂田宇政 に定意をしてる」に設定した子操を接続する場合、「子帳(国主設正)+子 提供定意致) へ 30 0 時度、 ・子帳(国主設証) 1 ~ 00 0 時度、 ・子帳(国主設証) 1 ~ 00 0 時度、 ・子帳(国主認証) - 7 0 (代活種数) 井坂田宇政 1 ~ 30 単端点 オットワーク販売産 ・子帳(国主認知) - 7 0 (代活種数) ● 単価(営業証) - 7 0 (代活種数) ● 単価(営業証) 201 ・子様(国主認知) - 7 0 (代活種数) ● 単価(営業証) - 7 0 (代活種数) ● 単価(営 (代用) 202 ・日本(日本) ● 単価(電) ● 単価(電) 203 ・日本(日本) ● 単価(電) ● 単価(電) ● 単価(電) 203 ・日本(日本) ● 単価(電) ● 単価(電) ● 単価(電) 203 ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) 203 ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) 204 ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) 204 ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) ● ジョン(日本) 205 <		● 61 ~ 100 台構成	
キットワーク構成 SE2部参助・日常設を(する)に設定した子機を接続する場合、「子機(国営設置)+子 機(医営家助) 2-30 合構成 ・子機(同営設置) 1-30 合構成 ・子機(同営設置) 1-30 合構成 ・子機(同営設置) 1-200 合構成 ・子機(同営設置) 1-200 合構成 ・子機(同営設置) 1-200 合構成 ・子機(同営設置) 1-200 合構成 ・子機(同営設置) 2-20 合規(日本) ・2-20 合(日本) ・2-20 合(日本) ・2-	ネットワーク規模調整	920MHz 帯無線で接続する子機の内容、収容数を下記から選択します。	子機(固定設置)
20 報告選移動) まただしてご使用ください。 ・牛城国定装配 31 へ 00 行機成 ・牛城国定装配 31 へ 00 行機成 ・牛城国定装配 31 へ 00 行機成 ・牛城国定装配 31 へ 00 行機成 ・牛城国主装配 31 へ 00 行機成 ・中城国主要加 + 大級(国主会加) ・「「「「「」」」」」 ・「「」」」」 ・「「」」」」 ・「「」」」」」」 ・「「」」」」」」 ・「「」」」」」」 ・「」」」」」」」」 ・「「」」」」」」 ・「」」」」」」 ・「」」」」」」」 ・「」」」」」」」」 ・「」」」」」」 ・「」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」」 ・「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	ネットワーク構成	 低速移動モード設定を「する」 に設定した子機を接続する場合、「子機(固定設置) + 子	1 ~ 30 台構成
- 子様(信言変要) 1 ~ 30 合情成 - 子様(信言変要) 5 ~ 100 合構成 - 子様(信言変要) 5 ~ 100 合 - 子様(言言変要) 5 ~ 100 合 - A ~ 2 ~ 100	2.0	機(低速移動) を設定してご使用ください。	
・子機(固定設置)31 ~ 00 合機成 ・子機(固定設置)4 ~ 100 台橋成 ・子機(同定設置)4 ~ 100 台橋成 ・子機(同定設置)4 ~ 100 台橋成 ・子機(同定設置)4 ~ 200 台橋成 ・子機(同定設置)4 ~ 200 台橋成 ・子機(同定設置)4 ~ 200 台橋成 ・子機(同定設置)4 ~ 200 台橋成 ・学校(学校) ・		● 子機(固定設置) 1 ~ 30 台構成	
・子様(協定設理) + 7億(協定発理) ・「枝(協定設理) + 7億(協定発理) ・「枝(協定設理) + 7億(協定発理) ・「枝(協定設理) + 7億(協定発理) ・「様(協定設理) + 7億(協定発理) ・「様(協定設理) + 7億(協定発理) ・「様(協定設理) + 7億(協定教理) ・「様(協定設理) + 7億(協定設理) + 7億(協定協定) ・「様(協定設理) + 7億(協定設理) + 7億(協定協定) ・「様(協定設理) + 7億(協定設理) + 7億(協定設理) ・「様(協定設理) + 7億(協定設理) + 7億(協定設理) + 7億(協定設理) ・「ない *************************		● 子機(固定設置) 31 ~ 60 台構成	
● 子機(協定設備)・子機(協定設備) ● ネットワーク規模的 920MH3 標編線の高電設定を下記から選択します。 ● クロシーカの実践な 920MH3 標編線の高電設定を下記から選択します。 ● マシトワーク参加モード ● ● 第マトワーク参加モード ● ● 第マトワーク参加モード ● ● 第マトワーク参加モード ● ● 第ロシークタンコンロンスの子機を提供する場合、1×3 互換モード」を選 次してください。 * * ネットワーク規構態 ネットワーク機成の設定が「子機(協定設置)・子機(協定設 別)の場合、本設定は、1×3 互換モード」固定となります。 * 1xのみ * ● ● Modbus BTU プロードキ Modbus プロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。 なし 1xのみ * ● ● Modbus TU アロードキ ● ● ● 1xのみ Modbus TU マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウトを測量を 300MH3 標編がで改通する高が合かるかを設てします。 * 1xのみ Modbus TU マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウトを調査 200 40 00.0 使み着い信がしいの ● ● 204LT 普遍線で改画すっレンジ方式: 最大マルチドロップ数1-4台 ● ● シレンジ方式: 最大マルチドロップ数1-3台 ● シレンジ方式: 最大マルチドロップ数1-3台 <th></th> <th>● 子機(固定設置) 61 ~ 100 台構成</th> <th></th>		● 子機(固定設置) 61 ~ 100 台構成	
キットワーク規模類整 キットワーク急賞数定 920MHL帯無線の高賞改定を下記から選択します。 ・時降低幾労 標準低労 20 ・時降低幾労 ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰領度・差級時間(中) ・回帰道(第) 200MHL希無線のマットワーク修成の設定が「子機(国定設置)+子機(医進度) 20 おり 1200 の場点・表設元は「いる温泉モード」回定 *** キャード ** ** 1200 の場点 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **		 ● 子機(固定設置) + 子機(低速移動) 	
ネットワーク島質数2 ・原準(推奨) ・原準(推奨) ・原準(推奨) 200 ・回聴地度: 是最終前(1) ・回聴地度: 是最終前(1) ・ ジットワーク参加モード 520MH: 帯無線のネットワーク参加モードを設定します。ネットワーク上に 920MH: 帯線ディームウェアバージョンペスの子様を接触でる場合、(3) 互換モード」を望 次してください、 ネットワーク力提集地感 ネットワーク構成の設定が「子機(回定設置) + 子機(活達修 動))の場合、本設定は「3) 互換モード」固定となります。 v3 互換モード」 ド 201 パタ 互換モード 画定となります。 ・ 103 互換モード 一 一 ・ 201 マゴロードキャスト道信を使用する際、ブロードキャスト方(1)、大として使 ・ 一 ・ 11xの乃 ・ ・ パロンロンドキャストア Modbus (70日・マネク・機器からの) Modbus リクエストのタイムアウト処理を ・ たし ・ かり(ボーリング) ・ 11xの乃 ・ ・ ・ パロ・ロング ・なし ・ ・ ・ 11xの乃 ・ ・ ・ パロンロンドレンス書を0-235 の検証ので気にます。 ・ ・ ・ 11xの乃 ・ ・ ・ ・ 11xの乃 ・ ・ ・ ・ 11xのう ・ ・ ・ ・ 11xのう ・ ・ ・ ・ 11xのう ・ ・ ・ <td< th=""><th>ネットワーク規模調整</th><th>920MHz帯無線の品質設定を下記から選択します。</th><th>標準(推奨)</th></td<>	ネットワーク規模調整	920MHz帯無線の品質設定を下記から選択します。	標準(推奨)
主の ・可替板度・遅延時間(巾) ・可替板度・遅延時間(巾) ・可替板度・遅延時間(巾) ・可替板度・遅延時間(巾) ・ 20 ・の目前板 = 濃飯内 ペットワーク参加モードを設定します。ネットワーク上に 920MH ************************************	ネットワーク品質設定	●標準(推奨)	MIT GIBSO
・ 切場板道、- 蔓延時間(大) ・ 切場板道、- 蔓延時間(大) オットワーク参加モード 920MHz 精生機のネットワーク参加モード会設定します。ネットワーク上に 920MHz 新線ファームウェアバージョン v3x の子機を技能する場合、「v3 五換モード」を選 択してください。 ネットワーク規模調整 ネットワーク構成の設定が「子機(加定設成) + 子機(低速移 動))の場合、本設定は「v3 五換モード」 ● 高速参加モード ド Modbus RTU ブロードキャ × ストアドレス ・ ロコ 五換モード ・ ロコ 五換モード ● あり ● のbの ・ ロコ 五換モード ● あり ● のbのbの でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 用するアドレス番号 ・ ロー 「Xのみ ● あり ● のbのbのでブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 用するアドレス番号 0 パケットアイ・ジョン Name ● のbの ● のbの ● のbの パケットアイ・ジョン Name ● のbの ● のbの ● のbの パケットアイ ● のbの ● のbの ● のbの ● のbの パケットアイ・ジョン Name ● のbの ● のbの ● の ● の パケットアイ・ジョン Name ● の ● の ● の ● の パケットアイ・ジョン Name ● の ● の ● の ● の パケット アイ・ジェン Name ● の ● の ● の ● の パケット アイ・ジェン AD スーム Name ● の ● の ● の ● の パケット スーム Name ● の ● の ● の ● の <td< th=""><th>20</th><th> ● 切替頻度・遅延時間(中) </th><th></th></td<>	20	 ● 切替頻度・遅延時間(中) 	
ネットワーク参加モード 920MHz 常無後のネットワーク参加モードを設定します。ネットワーク上に 920MHz v3 互換モード 激定 第第線フームウェアバージョン v3x の子機を接続する場合、「v3 互換モード」会選 択してください。 ネットワーク規模調整 ネットワーク構成の設定が「子機(固定設置)+子機(低進移 動)の場合、未定定は「v3 互換モード」 固定となります。 v3 互換モード マコ 互換モード 高速参加モード 高速参加モード ● v3 互換モード ● ak参加モード ● v3 互換モード ● ak参加モード ● v3 互換モード ● ak参加モード ● ak参加モード ● ak 「x のみ」 ● ab Modbus RTU プロードキ Modbus でプロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。 * なし ● ab Modbus RTC アロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。 ● なし 「x のみ」 Modbus でプロードキャスト通信を使用するかどうか下記から遅れします。 ● なし * なし ● ab Modbus でプロードキャストアドレスを数定します。 ● なし * なし ● ab (パーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり (ポーリング)」の表記は「あり」となっ でおります。 ● なし * なし ● ab (パーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり (ポーリング)」の表記は「あり」となっ でおります。 ● なし * タンシュー ● ab (パーリング) ※ファームウェア・ジョンコーンジング」 ● なし * シンジ ● ab (パーリング) ※ファームランジング」 ● ab (パーリング) ※ファーム・ジェー ● ab (パーリング) ※ファームランシング」 * クレンジガス: 最大マルケドロッフアド		● 切替頻度·遅延時間(大)	
認定 帯無線ファームウェアバージョン3xの子機を接続する場合、「v3 互換モード」を選	 ネットワーク参加モード	920MHz 帯無線のネットワーク参加モードを設定します。ネットワーク上に 920MHz	v3 互換モー
20 RUCK(KSN) キットワーク規模調整 キットワーク構成の設定が「子機(価定設置) + 子機(低速移動)」の場合、本設定は「v3互換モード」 303 互換モード 高速参加モード 協議参加モード Modbus-RTU プロードキ AcL 1 x005 AcL Modbus-RTU プロードキ AcL 1 x005 Modbus でプロードキャスト通信を使用する際、プロードキャストアドレスとして使用するアドレス番号 アメトアドレス Modbus でプロードキャスト通信を使用する際、プロードキャストアドレスとして使用するアドレス番号 ないこま ちゅう 1 x005 Modbus でプロードキャスト通信を使用する際、プロードキャストアドレスとして使用するの いのたいま かり いつと、 マストアドレス番号 Modbus でプロードキャスト 通信を使用する際、プロードキャストアドレスとして使用するの いのか いった いま いったいま からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を しま いっなし ・ パマームウェアバージョン 1.0 では「あり (ボーリング)」の表記は「あり」とな いった いった いった いった いった いった いった いうか マングラン いった いった いった いった いった いった いった いう いった	設定	帯無線ファームウェアバージョン v3 x の子機を接続する場合、「v3 互換モード」を選	بر ۲
こ POINT PRODUCTS ネットワーク規模調整 ネットワーク構成の設定が「子様(協定設置)+子様(低速移 助)の場合、本設定は「33 互換モード」 画演整加モード A Modbus-RTU プロードキ マストアドレス A エスロード ● Modbus-RTU プロードキ マストアドレス A エスロード ● Modbus-RTU プロードキ マストアドレス A Modbus-RTU プロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。 A Txのみ ● Modbus-RTU プロードキ マストアドレス番号との~255 の範囲で設定します。 0 パメットフイルタリング Modbus でプロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。 0 マストアドレス番号との~255 の範囲で設定します。 0 パシットフイルクリング Modbus-TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を あり(ポーリング) あり シロンジカ 第ファームウェアバージョン1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 ● タイムアウト時間(夢) Modbus-TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 20~ (ポーリング) 4.0 秒 Modbus-TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 20~ (オーリング) 1.0 行 (ホーリング) 1.0 行 メンジ方式: 最大マルチドロップ数 1.0 行 しンジ方式: 最大マルチドロップ数 1.2 行 レンジ方式: 東大マルチャドロップ数 1.2 行 レンジ方式: 東大マルチャドロップン 1.0 行 レンジ方式: 東大マルチャドロッ 1.2 FVンマの調査(12 A) Modbu	20	小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小小	·
新)の場合、本改注は「v3 互換モード」固定となります。 • v3 互換モード • v3 互換モード • wa 互換モード • wa jaw me – ド Modbus RTU ブロードキ • なし • ストアドレス番号 用するアドレス書分を 0~255 の範囲で設定します。 • なし • あり 920MHz 常無肉で処理するかざかを設定します。 • なし • あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ でなりまう。 • なし • あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ でなりまう。 • なし • あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ でなりまっ • なしいジガボ、最大マルチドロッブ数100 ・レンジガボ、最大マルチドロッブ数1~46 • レンジガボ、最大マルチドロッブ数1~41 • レンジガボ、最大マルチドロッブ数1~41 • レンジガボ、日本オボ、	2.0	ネットワーク規模調整 ネットワーク構成の設定が「子機(固定設置) + 子機(低速移	
加速の中に、「のこれ」をいたしている。 19.8000000000000000000000000000000000000		動)」の場合 本設定は「v3 万換モード」固定とたります。	
Image: No. 1000-1000 Norther No. 1000-1000-1000 Norther No. 1000-1000-1000-1000-1000-1000-1000-100		● v3 万極モード	
Modbus RTU ブロードキ Modbus でブロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。 なし マストアドレス ・なし ・なし 1xのみ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 Modbus RTU ブロードキ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 1xのみ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 パマロードキ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 パマロードキ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 1xのみ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 パマロードキ Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 0 パマロードキ Modbus でブロードネッスト通信を使用する際、ブロードキャストアレスクリンジー 0 パマロードキ Modbus TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を あり パーリング ※ファームウェアングランブスージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ 7 パローリング ※ファームウェアングランジングングンジングンジングンジングンジングンジングンジングンジングンジン		 ● 高速参加モード 	
オストブドレス ● なし 1xのみ ● なし 1xのみ ● あり Modbus RTU ブロードキ オストブドレス番号 Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使 用するアドレス番号を 0~255 の範囲で設定します。 0 パケットフィルタリング ModbusTCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を 0.50(ボーリング) あり ジマームウェアパージョン 1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 ● あり タイムアウト時間(秒) ModbusTCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 ランジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~31 台 ● リスト方式 ● ンゴラガ式で最大マルチドロップ数 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~31 台 ● リスト方式 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~31 台 ● リスト方式 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチャロップ数 1~31 台 ● リスト方式 ● ンジジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4台 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ 1~4台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4日 ● リスト方式 ● レンジ方式: 最大マルチドロップ 1~4台 ・シロッピング力式: 最大マルチドロップ 1~4台 ● レンジカ式: 日本 ● リストアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 5~	Modbus-RTU ブロードキ	Modbusでブロードキャスト通信を使用するかどうか下記から選択します。	なし
1xのみ あり Modbus:RTU ブロードキ ヤストブドレス番号 Modbus:CTU ブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使用するアドレス番号 0 1xのみ 州するアドレス番号 0~255 の範囲で設定します。 0 パケットフィルタリング Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 あり (ボーリング) ※ファームウェアパージョン1.0では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 もの 0.0 秒の範囲で設定します。 0 タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 6.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 00.0 秒の範囲で設定します。 タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 6.0 秒の範囲で設定します。 リスト方式 房番の指定方法 920MHz 帯無線行機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数1-4 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1-4 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1-61 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1-8 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1-31 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1-4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式 「「番リスト」 「「番リスト」」」」」」 「「番リスト」」」 「「番リスト」」」」」 「「「番リス」」 「「番リスト」」」」 「「「」」」 8 しょしたったように関連付けるまます。 「」」」 「「」」」」 「」」」	ャストアドレス		0. 2
Modbus RTU ブロードキ マストアドレス番号 Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使用するアドレス番号 0 1xのみ 用するアドレス番号を0~255の範囲で設定します。 0 パケットフィルタリング Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を9200MHz 帯無納穴で処理するか否かを設定します。 あり (ボーリング) ・なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっております。 4.0 秒 ダイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ (おります。 4.0 秒 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行かる下記から遵釈します。 リスト方式 局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行かる下記から遵釈します。 リスト方式 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~8 台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~8 台 リンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~16 台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~21 台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~21 台 ・レンジ方式: しンジ方式で最大マルチドロップ数 1~21 台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~21 台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~21 台 ・レンジ方式: しンジ方式で最大マルチドロップ数 1~21 台 ・レンジ方式: しンジ方式で最大マルチドロップ数 1~24 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が… といったように関連付け 6 ねます。 1~24 台の場合、ショートアドレス 0001 「商番リストでは、 関連付け 6 ねます。 リスト方式は、 関連付け 6 わます。 「商番リストでは、 局番の 欄に 関連付け 6 加速する 1~24 台の場合 「日本日本の学 600 コートアドレスを設置 「商番リストでは、 局番の 欄に 関連付け 6 加速する 「商番リストでは、 局番の 欄に 関連付け 6 加速する 「商番リストでは、 局番の 欄に 関連付け 6 加速する 1~24 台の場合 0 回	1.x のみ	● あり	
サストアドレス番号 用するアドレス番号を0~255の範囲で設定します。 あり パケットフィルグリング Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 あり ・ なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン1.0では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 4.0 秒 タイムアウト時間(ゆ) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ (ボーリング) 4.0 秒 原番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 4.0 秒 ワンジ方式: 最大マルチドロップ数1 つ 1台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数1 つ レンジ方式: 最大マルチドロップ数1 へ16 台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数1 へ31 台 リスト方式 リスト方式 レンジ方式で最大マルチドロップ数1 へ4 台の場合、ショートアドレス 0001 1 (ごれ Modbus 機器アドレスが関連付けられまいく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1 へ4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレスが関連付けを自由に行う方式で、 同番リスト式は、関連付けを自由に行う方式で、 同番リストトでは、同番の欄に関連付けるれます。 リスト方式、最重切けたを自転に行き去す。 周番りストでは、局番の欄に関連付ける 1 (1) 日本町 原本のナドレマン支 1 (1) 1 (1)	Modbus-RTU ブロードキ	Modbus でブロードキャスト通信を使用する際、ブロードキャストアドレスとして使	0
1xのみ Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ・なし ・あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン1.0では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 あり (ボーリング) タイムアウト時間(か) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 タイムアウト時間(か) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 タロの料定 常無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 シンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 合 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 合 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~4 台 ・レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~31 台 ・リンジ方式: 最大マルチドロップ数 1~31 台 ・リンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数 0台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けを自由に行う方式で、 同番リストでは、周番の欄に関連付ける アメースの02 には Modbus 機器アドレス 5~ 85 小といったように関連付けを縮重する両面 に移行します。 周番リストでは、局番の欄に関連付ける 1 日本のの2 には Modbus 場響アドレスを設 1	ャストアドレス番号	用するアドレス番号を 0~255 の範囲で設定します。	0
パケットフィルタリング Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっております。 タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ (ボーリング) 第プアームウェアバージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっております。 タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ (4.0 秒 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 ように行うかを下記から選択します。 シンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 合 レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 合 台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 ~ 8 台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 ~ 31 台 リスト方式 レンジ方式: 最大マルチドロップ数 1 ~ 4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1 ~ 4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを目由に行う方式で、 同番リストでは、局番の欄に関連付ける 第二人下げとス 0001 第二人下げとス 0001 第二人下げとス 0001	1.x のみ		
920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっております。 (ボーリング) タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 4.0 秒 60.0秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 リスト方式 房番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように最大マルチドロップ数1台 リスト方式 レンジ方式: 最大マルチドロップ数1台 シレンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 リンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 シレンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 リンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 シンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 シレンジ方式: 最大マルチドロップ数 10-4台 レンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台 シンジ方式: 最大マルチドロップ数10-4台の場合、ショートアドレス 0001 レンジ方式: ホートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数00-4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1-4 が、ショート アドレス 0002 ドレス・ショートアドレス 2001 には Modbus 機器アドレス1-4 が、ショート アドレス 0002 「 アメト方式は、関連付けを相集する画面に に務 0.002 には Modbus 機器アドレス 5- ● ● アメト方式は、関連付けを相集する画面に に称うしたいたように関連付けを編集する画面に に務 0.1 トでは、局番の 個に関連付ける ● ● 10411111111111111111111111111111111111		Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト処理を	あり
●なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっております。 4.0 秒 夕イムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 合 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 合 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 へ 4 合 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 へ 3 白 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 へ 16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 へ 3 白 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 へ 4 合 リスト方式 たさには Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式です。 アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けを自由に行う方式で、 同番リストドメクンで関連付けを編集する画面に に移行します。 ● 単 リストでは、局番の欄に関連付ける 調査 りストアドレスを設 日本 10 年期線子機のショートアドレスを設 ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●			
・あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっております。 タイムアウト時間(分) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 周番の指定方法 ジ200HLz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数14 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ4台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ4台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ4台の場合、ショートアドレス0001 には Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1へ4台の場合、ショートアドレス0001 には Modbus 機器アドレス 1へ4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~8 が…といったように関連付けを自由に行う方式で、 同番リストアは、周垂の間に同様付ける相定行う方式で、 同番リストアは、局番の欄に関連付ける 認知していることは 「日番リスト」ボタンで関連付けを編集する画面に に移行します。 周番リストアは、局番の欄に関連付ける 夏20MHz 帯無線子機のショートアドレスを設		920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。	(ポーリング)
※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ボーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 4.0 秒 タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-6 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-8 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-26 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-26 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-26 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-26 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1-26 ・レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレス 1-24が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 両番リストでは、局番の欄に関連付ける 取りコートアドレスを設 ● ・ ・ ・ ● ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ ・ > ・ > >		920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ● なし	(ポーリング)
ております。 マスり一機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 4.0 秒 局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 リスト方式 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1000 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数10000 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数100000 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 ・レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが開連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート ・レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 周番リストでは、局番の欄に関連付けを編集する画面 に移行します。 ・ 局番り ストでは、局番の欄に関連付けを認知 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ● なし ● あり(ポーリング)	(ポーリング)
タイムアウト時間(秒) Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0秒の範囲で設定します。 4.0 秒 局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ4台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 ・リスト方式 1 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数12~31台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 ・リスト方式 1 ・レンジ方式で最大マルチドロップ数1~31台 ・レンジ方式で最大マルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式で最大マルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式で最大マルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式で最大マルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式でしたマルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式でしたマルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式でしたマルチドロップ数1~46の場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式でしたマルチドロップ数1~4000場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式でしたマルチドロップ数1~400場合、ショートアドレス 0001 1 ・レンジ方式で、周連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 1		 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっ 	(ポーリング)
60.0 秒の範囲で設定します。 リスト方式 局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~4台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 ・リスト方式 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 ・リスト方式 ・レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレス防調連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート ・とえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 ・メート方式は、関連付けを自由に行う方式で、 「番リスト下ボタンで関連付けを編集する画面に移行します。 「番リストでは、局番の欄に関連付ける ************************************		 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ◆なし ◆あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 	(ポーリング)
局番の指定方法 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ8台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1へ31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1〜4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1〜4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス5〜 1 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 月番リストでは、局番の欄に関連付ける 1 104 1 105 1 105 1 106 1 107 1 108 1 108 1 109 1 100 1 100 1 100 1 105 1 106 1 107 1 108 1 108 1 109 1 100 1 100 1 100 1 100<	タイムアウト時間(秒)	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ◆なし ◆あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 	(ポーリング) 4.0 秒
ように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒)	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 	(ポーリング) 4.0 秒
 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~16台 リンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ● なし ● あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~16台 リンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ◆なし ◆あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~8台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ●なし ●あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 ●レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~4台 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
 レンジ方式:最大マルチドロップ数1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8台 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31台 リスト方式 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数1~4台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス1~4が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 シスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
 アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リスト ボタンで関連付けを編集する画面 に移行します。 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31台 リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4台の場合、ショートアドレス 0001 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストボタンで関連付けを編集する画面 に移行します。 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ●なし ●あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 ●レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 ●レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 ●レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 ●レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 ●レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 ●リスト方式 レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リスト ボタンで関連付けを編集する画面 に移行します。 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 リスト方式 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 リスト方式 レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
局番リスト ボタンで関連付けを編集する画面 に移行します。 * 局番リストでは、局番の欄に関連付ける * 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設 *	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 リスト方式 レンジ方式に最大マルチドロップ数 1~31 台 ビンジ方式に参当ートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
に移行します。 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 • なし • あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 • レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 • リスト方式 レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ・なし ・あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 ・レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 ・リスト方式 レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リスト ポタンで関連付けを編集する画面	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 合 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 リスト方式 レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~31 台 リスト方式 ボタンで関連付けられます。 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	 920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 なし あり(ボーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどのように行うかを下記から選択します。 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~4 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~8 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~16 台 レンジ方式:最大マルチドロップ数 1~31 台 リスト方式 レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~41 合 シンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレスが関連付けられていく方式です。 たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式
定してください。	タイムアウト時間(秒) 局番の指定方法	920MHz 帯無線内で処理するか否かを設定します。 ・ なし ・ あり(ポーリング) ※ファームウェアバージョン 1.0 では「あり(ポーリング)」の表記は「あり」となっ ております。 Modbus/TCP マスター機器からの Modbus リクエストのタイムアウト時間を 2.0~ 60.0 秒の範囲で設定します。 920MHz 帯無線子機のショートアドレスと Modbus 機器アドレスの関連付けをどの ように行うかを下記から選択します。 ・ レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 ・ レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 台 ・ レンジ方式:最大マルチドロップ数 1 ~ 4 台 ・ レンジ方式はショートアドレス 0001 から順に最大マルチドロップ数の台数ずつの Modbus 機器アドレス 5~ たとえば、レンジ方式で最大マルチドロップ数 1~ 4 台の場合、ショートアドレス 0001 には Modbus 機器アドレス 1~ 4 が、ショート アドレス 0002 には Modbus 機器アドレス 5~ 8 が…といったように関連付けられます。 リスト方式は、関連付けを自由に行う方式で、 局番リストでは、局番の欄に関連付ける 920MHz 帯無線子機のショートアドレスを設	(ポーリング) 4.0 秒 リスト方式

920Run ランプ点灯 タイムアウト	Modbus マスターからの読み出し/書き込み要求が本器を経由して 920MHz 帯無線子 機送受信されると 920Run ランプが点灯しますが、次の要求前に本設定時間が経過す ると、920Run ランプが消灯して異常を知らせます。設定は 0.0~3200.0 秒の範囲で 行えます。	5.0 秒
経路切替前の子機宛デー タ送信回数 2.0	 920MHz 帯無線の親機から子機の通信で、通信失敗時に通信経路の切替を行うまでの 回数を下記から選択します。 ●1回 ●2回 	3 回

■MAC アドレスリスト設定

920MHz 帯無線の接続認証と暗号化には、標準では設定した1つの暗号鍵を共通で使用しますが、接続する無線子機のMACアドレスと、その子機専用の暗号鍵を設定して運用することも可能です。MACアドレスと暗号鍵のペアを最大200台分まで設定可能です。

K 6	MACアドレスリスト設定	80 v
MACアドレス厳証する		
200 200		
0.25.36:00:00:00:00:0	1 90123456789012	Ø
0.25:36:00:00:00:00:0 87654321098765432	2 10987654321098	0

MACアドレスリストでの運用を行う場合は、920MHz 帯無線設定の画面から MACアドレスリスト設定ボタンで左図の画面に移行し、MACアドレス認証するのチェ ックを入れ、追加ボタンで、MACアドレスと暗号鍵のペアを必要な台数分登録してくだ さい。

■接続拒否リスト設定

MACアドレスリスト設定で、子機ごとに暗号鍵を設定して運用している場合に、接続を拒否したい機器のMACアドレスを登録する ことにより、明示的に接続を拒否することができます。MACアドレスを最大 50 台分まで設定可能です。



接続拒否したい機器を登録する場合は、920MHz 帯無線設定の画面から接続拒否リスト 設定ボタンで左図の画面に移行し、追加ボタンで、MACアドレスを登録してください。

I/O モニタ

設定メニューのI/Oモニタで機器の動作確認を行うことができます。

8奋"有致	
形式	IB10W2-N
豊 田 (1997年1997年1997年1997年1997年1997年1997年1997	TEST9999
ファームウェアバージョン	1.0.2
MACアドレス 無線受信信号強度	00:80:92:60:f4:4c
920MHz帯無線ファームウェアバージョン	0.0.0
920MHz帯無線MACアドレス	00:25:36:00:00:00:25:08
920MHz帯無線状態1 (STATUS LED)	正常(NW未参加)
920MHz帯無線状態2 (ネットワークLED)	ペアリング停止中
サポート情報	235,248,0,0

■表示項目

长线	88.	库	

形式	本器の形式	
機番	本器の機番	
ファームウェアバージョン	本器のファームウェアバージョン	
MACアドレス	本器の Ethernet MAC アドレス	
無線受信信号強度	アクセスポイントからの無線受信	信号強度 ※アクセスポイント動作のときは表示しません。
920MHz 帯無線ファームウェアバージョン	920MHz 帯無線モジュールのファ	ームウェアバージョン
920MHz 帯無線 MAC アドレス	920MHz 帯無線モジュールの MA	Cアドレス
920MHz 帯無線状態 1 (STATUS LED)	920MHz 帯無線の状態 正常(NW 未参加) 正常(NW 参加) 電波送信時間超過 障害中	正常、ネットワーク未参加。 正常、ネットワーク未参加。 ARIB STD-T108 で規定される送信時間制限 により、電波送信を一時的に停止しました。 920MHz 帯無線モジュールになんらかの障害 が発生しています。機器の電源再投入、機器 の再設定で復帰しない場合は機器の故障の可 許性があります。
920MHz 帯無線状態 2 (ネットワーク LED)	920MHz 帯無線のネットワーク状 NW 未参加、または NW 離脱中 通常状態 ペアリング停止中 シリアル送信中	 熊 ネットワークに参加していません。 ネットワークに参加しています。 920MHz 無線を停止しています。 920MHz 帯無線子機にデータを送信中です。
サポート情報	弊社サポートが使用するメンテナ	ンス情報

無線モニタ

設定メニューの無線モニタで近隣のアクセスポイントを検索して表示できます。リピータ動作時は本機能を使用できません。

р в		
5	SSID	RSSI(dBm)

■操作項目

 ・ 検索する

近隣のアクセスポイントを検索します。

注意事項

本機能での検索結果はめやすとしてご使用ください。無線の混雑具合などの正確な状態は、サイトサーベイサービスを提供する専門 の業者に依頼し、測定することをおすすめします。

920MHz トポロジモニタ

設定メニューの 920MHz トポロジモニタで、本器に接続している 920MHz 無線子機を表示できます。

戻る	920M	Hz帯無線トポロジモニタ	
ショートアドレス 0001	親アドレス 0000	MACアドレス 00:25:36:00:00:00:32:59	HOP数 1

■操作項目

1	更新	920MHz 帯無線子機一覧を更新します。

メンテナンス

設定メニューのメンテナンスで下図のメンテナンス操作が行えます。(下記画面はファームウェアバージョン 2.0 のものです。)

⑤ 戻る メンテナンス
機器再起動
再起動する
ファームウェアアップデート
(ファイルを選択)ファイル未選択
アップデートする
設定をファイルに保存する
保存する
設定をファイルから機器に転送する
(ファイルを選択)ファイル未選択
転送する

■操作項目

機器再起動	再起動するボタンで機器を再起動します。
ファームウェアアップデート	ファイルを選択ボタン (Web ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります) でフ
	ァームウェアファイルを選択し、アップデートするボタンでファームウェアを機器に転送し
	ます。転送後、機器を再起動するとファームウェアのアップデートがおこなわれ、アップデ
	ート後のバージョンで起動します。
設定をファイルに保存する	保存するボタンで設定ファイルを機器から読み出し、ファイルとして保存することができま
2.0	す。
	iOS、iPadOS をご利用の場合、「設定を読み出し中…」という表示から変化しないことがあ
	ります。その場合、Web ブラウザの再読み込みを実施してください。設定ファイルは問題な
	く読み出だすことができます。
設定をファイルから機器に転送する	ファイルを選択ボタン (Web ブラウザによっては参照等、他の名称の場合もあります) で設
2.0	定を保存したファイルを選択し、転送するボタンで設定を機器に転送し、書き込みます。
	転送後、機器を再起動すると設定変更内容が機器に適用されます。